

授業科目等の概要

(園芸系専門課程マイスター科)平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			栽培・生産論	花き生産において重要である用土、土壌、肥料、かん水システム、病害虫の発生・防除、農薬について解説し、花き生産に必須の基礎知識の習得をする。	1前	30		○			○		○		
○			花き生産流通実習I	栽培花きの繁殖から栽培、出荷までの実習を行い、鉢物及び切り花生産におけるそれぞれの基礎技術を習得する。	1前	120					○	○	○	非常勤講師	○
○			園芸装飾実習I	生活空間に植物を配置する場合の装飾方法及び家庭園芸での植物の維持管理方法について、実習を通じて基本技術・技法を習得する。	1前	30					○	○	○	非常勤講師	○
○			フラワーデザイン実習I	フラワーアレンジメントや花束を中心に自ら制作することにより花き装飾の基礎技術を養う。	1前	60					○	○	○		
○			フラワーアート実習	生花以外の花素材である造花、ドライフラワー、プリザーブドフラワー、押し花などの特性を理解し、それぞれの長所を生かした商品づくりを通して装飾の基本技術を習得する。	1前	30					○	○	○	非常勤講師	○
		○	3級フラワー装飾技能検定対策実習	フラワー装飾技能検定試験の課題を繰り返し制作練習することで基礎技術の習得を徹底し、検定試験の合格水準の技術・知識を習得する。	1前	60					○	○	○	非常勤講師	○
○			造園学概論	様々な様式の造園の歴史の変遷や伝統的な技法やその活かされ方について学ぶ。「用と景」が求められる造園の課題を把握し、将来の字C摘むに創造的に取り組む基盤を築く。	1前	30		○				○	○		
○			造園施工・管理実習I	自然素材や加工材料を用いた造園施設の制作と、時期や生育特性に合わせた植物の管理方法を、学校内外での調査や実習により学び、造園の施工管理の基礎的な理論と技術を習得する。	1前	60					○	○	○	非常勤講師	○
		○	3級造園技能検定対策実習	3級造園技術技能検定に合格するための知識、技術を習得する。	1前	30					○	○	○	非常勤講師	○
○			植物生理学	植物の生理的な特性と栽培利用方法について学ぶ。	1前	30		○				○	○		
○			花修景実習I	校内や花フェスタ記念公園を実習地として、一・二年草や宿根草の植栽のデザインや管理を行う。校内で栽培した一年草の苗を中心に校内の植栽地に夏花壇を作り管理をする。	1前	30					○	○	○	非常勤講師	○

		○	盆栽概論・実習	盆栽の歴史・理念・基本用語・道具などの基礎知識、盆栽の一連の基礎技術の自習を通じて、日本の伝統園芸文化である盆栽の精神と基本技術を習得する。	1後	30		△		○	○	○	○	非常勤講師	○
		○	基礎会計	将来の企業・就農、または事業を束苗う人材に必須となる「数字で企業活動・経営を捉える」ための素養である会計と、その中核をなす技術体系である簿記の基本を学ぶ。	1後	30		○			○	○	○		
		○	園芸色彩学	園芸に取り組む上で必要な色彩の基礎や効果的なコーディネートを学び、商品づくりや販売促進、造園や景観計画におけるカラーデザインテクニックを身につける。	1後	30		○		△	○	○	○	非常勤講師	
○			キャリアデザインⅡ	学習習慣の改善と学習効果の向上を目指し、また自己分析や将来展望の考察を通して専攻分野学習と就職活動への動機づけを図る。	1後	30		○			○	○	○	非常勤講師	
○			植物管理基礎実習Ⅱ	生産温室、学内花壇、庭園その他各種花飾り等の日常管理を通じて、園芸植物管理に不可欠な基礎的技術と知識を習得する。	1後	30					○	○	○		
○			Global Communication in Horticulture Ⅱ	英会話力アップと園芸に関する英語表現を学ぶ。	1後	30		○			○	○	○	非常勤講師	
○			職場体験実習Ⅰ	受け入れ先企業において実際の業務に従事することを通じて、「就職や勤労に対する意識の涵養」と「自らに足りないものを自覚」し、今後の進路・職業選択に資する。	1後	90					○	○	○		○
○			商品動向リサーチⅠ	近隣ガーデンセンターに出向き、各自オリジナルの植物データベースを作成する。	1後	30				○	○	○	○		
		○	生産プロジェクトⅡ	チームで花き栽培管理のプロジェクト課題に取り組み、成果をプレゼンテーションする。	2前	90					○	○	○		
		○	基礎育種学	花きの新品種育成に必要な遺伝・育種学、バイオテクノロジーの基礎知識及び最新の育種動向・戦略について学ぶ。育種目標を立て、実際に配を行い、育種技術の基礎を習得する。	2前	30		○			○	○	○		
		○	花き装飾演習	多くの装飾作品例に触れることを通して、花き装飾の魅力と社会的役割を理解するとともに、演習を通じてデザイン力の向上を図る。	2前	30		△	○		○	○	○		
		○	フラワーデザイン実習Ⅲ	フラワーデザイン実習Ⅰ、Ⅱで習得した基礎技術を活用し、空間を花で飾る(ブライダル、フェーネラル)技術を身につける。	2前	60					○	○	○	客員教授 非常勤講師	○
		○	2級フラワー装飾技能検定対策実習	国家検定2級の実技試験内容を意識し、課題を繰り返し制作することにより、合格水準の技術・知識を身につける。学科試験のためのフラワーデザインに関する知識を得る。	2前	90					○	○	○	客員教授	○

		○	造園施工・管理実習Ⅲ	造園管理実習Ⅰ、Ⅱで習得した技術を基に、造園施設を作成する。校内庭園や植物の時期や生育特性に合わせた管理方法と造園技術を確実に習得する。	2前	90					○	○						非常勤講師	○				
		○	造園計画演習	小庭園、個人住宅の庭園のプランニングとプレゼンテーション図面の作成を行い、造園計画における基礎調査から設計までの一連の流れを演習を通じて習得する。	2前	30					○	○											
		○	2級造園技能検定対策実習	2級造園技術技能検定に合格するための知識、技術を習得する。	2前	30						○	○						非常勤講師	○			
		○	CAD製図実習	コンピュータを用いた作図技法を学ぶ。造園設計・コンサルティングの分野に必要なCADの基本操作から2D、3Dの製図方法を習得する。	2前	30						○	○										
		○	企業・経営シミュレーション	簡単な事業計画の作成と発表・討論を通じた経営者感覚を育成により企業家精神の涵養、マネージメントに関する基礎的知識を習得する。	2前	30					○		○										
		○	花修景実習Ⅲ	花フェスタ記念公園における植栽管理、ボーターガーデンでの植栽管理を通じて、花修景のデザイン、管理について学ぶ。	2前	30							○	○	○	○				非常勤講師	○		
○			商品動向リサーチⅡ	商品動向リサーチⅡに引き続き、各自オリジナルの植物データベースを作成するとともに、ビジネス統計分析を学ぶ。	2前	30						○		○	○	○							
○			植物管理基礎実習Ⅲ	生産温室、学内花壇、庭園その他各種花飾り等の日常管理を通じて、園芸植物管理に不可欠な基礎的技術と知識を習得する。	2前	45							○	○									
		○	園芸文化演習	京都迎賓館の空間や装飾について実地に学び、広い視野で質の高い仕事を成し遂げることの緊張と高揚を体感することによって、園芸の社会的意義や文化的景観について考察する。	2前	30								○	○	○	○			客員教授 非常勤講師	○		
○			キャリアデザインⅢ	積極的かつ充実した就職活動を行うために必要な実践的な知識を習得する。	2前	30						○		○						客員教授			
○			海外視察研修	海外における花き生産や花き装飾、造園緑化に関する施設や店舗、庭園等を視察することにより知見を広げ、国際的な感覚を養う。	2前	90								○	○	○	○				客員教授		
		○	職場体験実習Ⅱ	就職を希望する業種の現場業務に従事することを通じて、専門的かつ実践的な能力と知識を習得する。	2前	60								○		○	○					○	
	○		卒業研究・卒業制作Ⅰ(花き生産コース)	研究課題を個別で設定し、調査・研究に取り組む。PDCAサイクルを活用し、課題解決能力の向上を図る。	2前	60							△	○	○								
	○		卒業研究・卒業制作Ⅰ(花き装飾コース)	習得した花き装飾の知識と技術の集大成性として、グループを組んで課題を設定し、大型フラワーディスプレイの制作に取り組み、実践的な装飾技術を習得する。	2前	60								△	○	○							

○	卒業研究・卒業制作Ⅰ(造園緑化コース)	小庭園の施工や現地調査、コンセプトメイキング、個人課題設計を通して、計画・設計・施工の造園に関する一連の仕事を理解する。	2前	60			△	○	○	○	○	非常勤講師	○
	○	造園工学・施工論	造園施工管理技士2級資格の学科試験対策を行う。	2後	30		○		○	○	○	非常勤講師	
	○	園芸福祉論・実習	園芸療法や園芸福祉分野の理解を深め、実際の活動を主体的に展開できる知識を習得する。	2後	30			○	○	○	○	非常勤講師	○
○		職場体験実習Ⅲ	生徒各自が設定した研修課題に基づき受け入れ先企業・団体等で現場業務に従事することを通して、本校で学んだ知識・技術を応用するための創意工夫・知恵を得る。	2後	150			○		○	○		○
○		特別ゼミ(花き生産コース)	個別に取り組んでいる研究課題の調査・研究の進捗状況を報告し合い、PDCAサイクルの確認を行う。	2後	60			○		○	○		
○		特別ゼミ(花き装飾コース)	卒業研究・卒業制作に関する論文やポートフォリオを作成し、指導教官とともに不得手を克服しエ手を伸ばせるような計画を立て実践する。	2後	60			○		○	○		
○		特別ゼミ(造園緑化コース)	卒業制作に関して、設計・施工から成果のとりまとめまでの課程の報告と検討等によって、実務を仮想した説明能力と協働運営の能力を高める。	2後	60			○		○	○		
○		卒業研究・卒業制作Ⅱ(花き生産コース)	卒業研究・卒業制作Ⅰの結果を踏まえ、卒業論文作成に向けた調査・研究に取り組む。PDCAサイクルを活用し、課題解決能力の向上を図る。	2後	300			△	○	○	○		
○		卒業研究・卒業制作Ⅱ(花き装飾コース)	習得してきた花き装飾の知識と技術を用いて、グループ課題・個人課題に取り組む。研究および作品制作結果を発表して、園芸業界で即戦力を発揮して活躍できる実践能力の向上を図る。	2後	300			△	○	○	○		
○		卒業研究・卒業制作Ⅱ(造園緑化コース)	チームワークを重視し、調査・測量・計画・設計・施工の一連の実践的な過程を経て、グループで造園空間を制作する。	2後	300			△	○	○	○	非常勤講師	
合計			科目	単位時間(単位)									
			63科目	2, 895単位時間(単位)									
卒業要件及び履修方法										授業期間等			
【卒業要件】必修科目及び2, 100時間以上の修得。【履修方法】各年次に配当し編成された授業科目から、履修しようとする科目を選択し届け出て履修を登録。所定の期間に限り履修登録の変更可。										1学年の学期区分		2期	
										1学期の授業期間		15週	

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。